

さくら教室だより

令和5年12月15日
東久留米市立第九小学校
校長 山本 真美枝
特別支援教室 担任



もうすぐ冬休みです



ご多用のなか、個人面談にお越しいただきありがとうございました。

ご家庭とお子様についての情報を交換でき、とても充実した時間となりました。今回の面談の内容を今後の指導により一層活用していきたいと思います。3学期もよろしくお願いします。



<今後の予定>

12月18日(月)指導終了
12月20日(水)巡回終了
1月11日(木)巡回開始
1月15日(月)指導開始

青ファイルは指導記録だけを残し、
学校校にお戻しく下さい。
冬休みは学校で保管します。



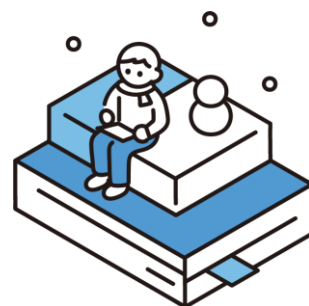
○指導がない日も、以下の日程は各校に教員がおります。何かありましたら、ご連絡ください。

【12月】

19日(火)	20日(水)	21日(木)	22日(金)	25日(月)
五小	南町小	九小	九小	九小

【1月】

9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)
九小	九小	南町小	五小



【さくら教室のちょこっとコラム】



○交渉術の練習

大人が提案したことに子どもが反対することは非常によくあります。学校でも、授業の中で「体育で長なわをします」や「漢字テストをやります」など、一日の中で教員がたくさんのことを児童に提案しています。そのまま、「は～い」となることもあれば、「イヤだ」と言われることもあります。「イヤだ」となり、児童が活動に参加しなくなったり、固まってしまったりするとき、「一緒にやろうよ」「これは〇〇な内容だよ」といった声掛けや説明も大事ですが、さらに一歩進んで交渉ができるようになるといいと思います指導しています。

○交渉の進め方

お子様が何かみんなで活動を始めるときに嫌がり、参加しないときに、さくら教室では話を聞くことから始めます。児童になんで参加しないことにしたのか理由を聞くと、意外とはっきりした答えが返ってくることもあります。例えば、「負けるのが嫌」「ルールがよくわからなくて不安」「今の自分にとっては難しい内容だ」といったものです。そのようなときは、ハードルを下げて参加できるようにする方法を提案してみます。例えば、「先生と一緒に参加してみる」「今はおためしだから勝ち負けはなしにする」「慣れるまで特別ルールを作る」などです。

ここで大事なことは、あくまで大人側もここまでは譲れないという最低ラインを決めておくことと、子どもが「これならできる」というラインをお互い出し合い、その妥協案を話し合いで探っていくことです。

活動の入り口のハードルを下げ、参加しやすい環境を作ると、「いざやってみたら大丈夫だった!」という結果になることが往々にしてあります。そうすると、子どもの中でも、「条件は交渉すれば変わることもあるんだ」「相手に自分の今の状態を伝えると聞いてもらえるんだ」「SOSを出すとサポートがもらえるんだ」といった経験が積み重なり、次第に自分の苦手なことを自分から素直に伝えることができるようになってきます。苦手なことを自分で受け入れ、伝える力は生きる力につながります。

○情報収集の時間

お子様が遊びや活動に参加できずに動かなくなることもあると思います。そういうときは、おそらく外から見て何をやっているのか情報を集めている時間です。すぐに声掛けをするよりも、お子様がじっくり情報を集めている間、ただ横で待つことも大切です。ある程度の情報が集まったら、急に参加できるようになることもあります。

